

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

契約利用者数 住吉41名、街道26名、住之江28名

※住吉には、リズムキリンやアソビバ利用者も含まれます。

4月からの区分が、住之江は区分2で確定しているのに対し、住吉・街道では、区分1か区分2かが確定できず、両方の収入を挙げています。

住吉・街道が区分1で、住之江が区分2の場合

（住吉）2,837万円（住之江）2,525万円（街道）2,797万円 合計 8,159万円

全てが区分2の場合

（住吉）2,361万円（住之江）2,525万円（街道）2,312万円 合計 7,198万円

長期休暇はご利用が無い方や、私用病欠で休まれる方を想定 → -100万円程度
収入：7,098万～8,059万円

今年度も、区分該当や強度行動障害支援加算が取れるよう、ご家族さんへの勉強会や加算申請の説明会等実施し、一人でも多く取得出来る様務めます。

【支出項目特記事項】

強度行動障害支援者養成研修（基礎）5千円×2名程 ※加算の為

※街道じらふは、早期に引っ越しを希望。予算等分かりません。また、住宅改修が必要かも、物件次第です。

購入希望物品

iPad：補償を付けて4万6千円×2台（街道と住之江で1台ずつ）

iPad バッテリー交換：1万4000円（住之江で現在使用中の1台にて）

※余暇活動に欠かせず、各現場2台ずつ使用してきたが、住之江は2台の内1台故障、1台充電不能。街道は、もともと1台しか無かった為。

パーテーション：3枚×6500円程度×3現場・・・環境整備

トランポリン：8000円×3現場・・・各現場、古くなり、バネが取れていたりしている為、買い替え希望

椅子：4脚×3現場×2500円程度・・・利用児の身体に合わせた物が少なく、丸椅子で対応していたりした為、新たに購入希望

照明器具ガード：72000円（9台分）・・・住之江じらふで、蛍光灯が裸状態の為他、ペンキ・石膏ボード・ホットプレート・バランスボール・Wii ゲームソフト等が、各現場から挙げられています。いずれも、中古商品を検討したり、寄付を募るなどし、それでも難しい場合に、購入を希望します。

2. 職員（育成・研修など）

住吉・住之江区放課後等デイ事業所等連絡会【すみすみ】や自立支援協議会研修での外部研修に参加出来る機会を多く持つ。デイ勉強会を今年度も実施し、パート・アルバイトへの参加率を上げる。強度行動障害支援者研修（加算の為）や、サービス管理責任者等の研修（5年ごと）。

3. 事業内容（おもな企画）

長期休暇期間は、毎日企画を実施し、調理・外出・工作などに参加して社会経験を積んでもらえるようにする。防災訓練は、各デイで毎月実施。季節の企画で、ハロウィン・クリスマス・節分・バレンタインなどの企画を行ない、季節を感じられる体験を計画する。また、企画等の写真をSNSに挙げ、新規利用者やパート募集に繋げる。

年間事業計画（予定）

| 月 | 事業・行事等 | 会議 | 研修計画(内部・外部) |
|------|---------------------------------|-------------------|----------------------------|
| 4 | 春休み(デイ午前中から) メンバーさん新体制 4月 日～ | デイ会議 支援計画会議 | 新人研修 すみすみ研修 |
| 5 | ゴールデンウィーク開所(休日時間) | デイ会議 支援計画会議 | デイ勉強会・強度行動障害支援者養成研修・すみすみ研修 |
| 6 | 第5土曜日特別企画 | デイ会議 支援計画会議 | デイ勉強会 すみすみ研修 |
| 7 | 夏休み(デイ午前中から) | デイ会議 支援計画会議 | デイ勉強会 すみすみ研修 |
| 8 | 夏休み 夏デイ外出 第5土曜日特別企画 | デイ会議 (短縮で開催する) | |
| 9・10 | 10月ギャングスターハロウィン企画 | デイ会議 支援計画会議 | デイ勉強会・児発管研修 すみすみ研修 |
| 11 | 第5土曜日特別企画 | デイ会議・支援計画会議 | デイ勉強会・すみすみ研修 |
| 12 | 冬休み(デイ午前中から) サンタ企画 | デイ会議 支援計画会議 | デイ勉強会 すみすみ研修 |
| 1 | 冬休み(デイ午前中から) | デイ会議 支援計画会議 | デイ勉強会 すみすみ研修 |
| 2 | 2019年度メンバーさん決定 卒業パーティー(高3対象) | デイ会議 支援計画会議 | デイ勉強会 すみすみ研修 |
| 3 | 春休み(デイ午前中から) 第5土曜日特別企画 | デイ会議 支援計画会議 | デイ勉強会 すみすみ研修 |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

予算収入：年間 12,026,295

根拠：2018年度の卒業生13人の利用者確保が課題。2019年度内に新規の利用者増（5名ほど）を見越して予算を計上。火曜日8名、水曜4名、木曜6名、金曜4名、土曜6名で計算。欠席を考慮し合計に0.9をかけた数値。

【支出項目特記事項】

ラミネーター購入費用：7,500

2. 職員（育成・研修など）

研修：STEP 勇気付けセミナー、感覚統合、ペアレントトレーニング等随時

育成：パート職員への研修内容の伝達研修、ミーティングでの情報共有

3. 事業内容（おもな企画）

年間事業計画（予定）

| 月 | 内容 | | |
|----|------------|-----|--------|
| 4月 | 新年度体制スタート | 12月 | 年末休み |
| 6月 | 卒業生フォローアップ | 1月 | 正月休み |
| 8月 | お盆休み | 3月 | 後期個別懇談 |
| 9月 | 前期個別懇談 | | |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

2018年度と同等 +

*GH付きのヘルパー（朝倉さん？瀧口さん？）200万+α（行動援護はいる時間あれば）

【支出項目特記事項】

- ・ICT機器（ipad） 15万円

2. 職員（育成・研修など）

- ・すみすみ研修（支援の視点、制度、様々な手法など）参加し、日々の実践を実施。
- ・強度行動障がい者養成研修（行政主催）
- ・職員による登録ヘルパーさんへの勉強会（虐待、感染症、支援の視点、車イスの操作と留意点、ABAなど）を実施する。
- ・ガイドヘルパー研究会の運営、定期的な集まり、情報共有などを他事業所を巻き込んで進める。
- ・他機関、登録ヘルパーさんなどとケース会議を実施し情報共有する機会を設ける。
- ・住吉区自立支援協議会こども部会に参加し、地域の課題などに取り組む一員として参加する。
- ・SNSで利用者さんの様子、ヘルパーの楽しさなど発信する。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・南大阪市連絡会主催のイベント等に参加し、利用者さんだけでなくヘルパーにとっても他のヘルパーの関わりを見て自分の支援の見直し、考えるきっかけにしたい。

年間事業計画（予定）

| | | | |
|----|------------|-----|------------|
| 月 | 内容 | 8月 | 地域イベント参加 |
| 4月 | 勉強会 | 9月 | すみすみ研修、勉強会 |
| 5月 | すみすみ研修、勉強会 | 10月 | すみすみ研修、勉強会 |
| 6月 | すみすみ研修、勉強会 | 11月 | すみすみ研修、勉強会 |
| 7月 | すみすみ研修、勉強会 | 12月 | すみすみ研修、勉強会 |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

だいくかのん：26,000,000円

大領であい：34,400,000円

だいくかのんは2018年度の基準で予算立てしております。

大領であいにおいては2018年度収入よりおよそ1,600,000円減収の見込みです。

大領であいかなでの夜間支援体制加算が来年度より「1日につき672単位」から「1日につき448単位」へ下がる見込みの為です。加算引き下げの理由は利用者のGH利用日の増加の為、夜間支援員配置が2：1から3：1になる為です。

【支出項目特記事項】

2. 職員（育成・研修など）

常勤職員については、個々の業務レベルの引き上げを目標とします。一般職の年数が2～5年目と経験を積んでおり、個々での判断、実施力などの向上を目指します。支援については、引き続き構造化に取り組みます。案は出るとも実施できていなかったことが多々あり、具体化していきます。

支援員、夜勤パートの確保が恒常的な課題ですが、特に夜勤については確保が困難になってきています。世相や給与面等様々な要因があるかと思いますが、夜勤という業務形態が以前よりも敬遠されているように感じえます。その為、従来の募集方法に重ねて、有料広告での募集などを取り入れていく必要を感じています。

3. 事業内容（おもな企画）

だいくかのん一泊旅行、大領であい一泊旅行は引き続き実施したく思います。

ただ、だいくかのん一泊旅行については、遠方の旅行を望む声もあり利用者の旅費確保のために来年度の一泊旅行は実施せず、再来年度の実施も含めて検討していきます。

年間事業計画（予定）

| 月 | 内容 | 11月 | だいくかのん一泊旅行(未定) |
|----|-------------|-----|----------------|
| 5月 | GW企画 | 12月 | クリスマス会 |
| 6月 | だいくかのん日帰り企画 | 1月 | 新年会 |
| 8月 | お盆企画 | 3月 | 家族会 |
| 9月 | 大領日帰り企画 | | |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

6,000,000円

2018年度を基準に予算立てしております。現在の夜勤パートは2019年度も継続予定です。夜勤パートの新規雇用があれば収入増となります。

【支出項目特記事項】

2. 職員（育成・研修など）

夜勤パートの新規雇用が永続的な課題となっている。他部署の常勤職員での対応は部署の体制もあり年々厳しくなっている。グループホームの夜勤を優先していることもあり、新規の専属パート雇用はすぐには難しい為、グループホームの夜勤パートの活用を進めて行く。

3. 事業内容（おもな企画）

年間事業計画（予定）

| 月 | 内容 | | |
|----|----------|--|--|
| 毎月 | ショート選定会議 | | |
| | | | |
| | | | |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

地域活動支援センター委託費より：約 1880 万円

計画相談報酬予想：約 1000 万円

【支出項目特記事項】対外的な業務が多く、旅費交通費や研修費などは割合高めか。

2. 職員（育成・研修など）

職員配置：地域活動支援センター 5人 ・ 計画相談専任 1人

研修：高齢部門との合同スキルアップ研修、法人内の他職種連携の支援の質向上委員会の事務局運営継続。

育成：OJT と法人内外研修などでのスキルアップを図る。部内では人権感覚醸成のための人権研修を継続し、他部署の参加も呼びかけ、法人内で広げていきたい。

3. 事業内容（おもな企画）

【地域活動支援センター】

当事者活動、語りの効果、居場所の提供、職員からの意図的な仕掛けなどを織り交ぜながら、開かれたサロン活動を展開していく。

【計画相談】

本人の望む生活のケアマネジメントを基本として、正確な実務管理を行う。

【福祉教育・住民交流】

しょうがいのある方や高齢者の方が安心して暮らせる地域づくりのために、実施も目的や意図を明確にした上で、法人内外との協働で啓発、交流を進めていく。

【ボランティア】

利用者とボランティアの出会いの機会として意義を中心におきつつ、活動者自身の自己実現、活動が定着できるようなフォローアップと、法人内のコーディネーション業務の在り方の見直しも行っていく。

【地域移行など】

長期入院にある方への地域移行に関する取り組みについても、積極的に受託など対応。

【防災取り組み】

事務局機能を継続。法人内の具体的防災実践を繰り返しながら、対外的には啓発発信で講演会など積極的に行っていく。

年間事業計画（予定）

| 月 | 内容 | | |
|------|------------|----|-------------|
| 春・秋 | 外食企画 | 夏 | 交流会 |
| 12月 | クリスマス会・大掃除 | 随時 | 各プログラム・外出など |
| 2ヶ月毎 | 相談員・CM向け研修 | 3月 | ふらっと楽しむすみよし |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

次年度収入：11,760,000円（内訳：基礎委託料 11,160,000円、建物賃貸借料 600,000円）

*参考：今年度 11,310,000円（内訳：基礎委託料 10,710,000円、建物賃貸借料 600,000円）

今年度は、利用人員 13名の実績に応じた委託料（11,310,000円）

次年度は、利用人員 14名の実績に応じた委託料になる（1名増。450,000円増の委託料で 11,760,000円。）。

利用人員が 15名になると、195万円増になるため、次年度は、15名実績を目指す。

【支出項目特記事項】

利用者がデザインしたスニーカー製作および販売を行いたい。

初期ロット（300足）で、一足あたりの製作コストが約 3,500円。合計 1,050,000円かかる見込み。その他諸経費を含み、1,200,000円ほどの支出の予算化をお願いしたい。

既に、試作段階を経て、製作・販売できる状況にはなっている。

販売においては、「らふら」や「なんばマルイ」での販売、オンラインストアの開設のほか、学校（学生）との連携による販路拡大プロジェクトを立ち上げ、より有効な販売方法を考案していく。

2. 職員（育成・研修など）

委託事業運営として必須となっている人権研修を中心に、事業運営に資する研修を行う。

例）コミュニティカフェ（福祉施設のなごさ化・住民交流・居場所づくり）に関する研修等

また、2年目のスタッフも配属されていることから、当該職員を対象に、ソーシャルワークの基礎的スキルを向上させる研修も実施（主に法人内研修を活用）。

3. 事業内容（おもな企画）

年数回、定例となっているカラオケや外食企画などを実施。

また、山之内地区とのつながりを大切に各種イベント出店等を行う。

日常的に、喫茶運営を通じた利用者同士ならびに住民交流等を促進する仕掛けを考案、実施する。

年間事業計画（予定）

| 月 | 内容 | | |
|---|----|--|--|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

障がい福祉サービスとして7702万円を設定。算出の根拠として年間248日開所（月～金と年末年始以外、年に7回の休日事業開所）を予定。

基本報酬と地域単価（2級地）で計算。各種加算（送迎加算、人員配置加算、専門職加算、重度障がい者支援加算、食事提供加算）を計上している。

【支出項目特記事項】

- ① トイレの扉 30万
（プライベート空間への配慮と臭い対策。男女トイレ入り口に設置希望）
- ② パーテーション設置 45万（設置工事費含む）
- ③ 床にマット設置 20万（防水畳。1畳20000円×10枚）
- ④ 車両メンテナンス 30万（総センと按分。総センでも30万算出）
- ⑤ オガリフロア・設備等メンテナンス 20万（椅子やテーブル修繕、買い替え含む）
- ⑥ 事務・OA関係 10万（パソコン修理・購入等含む）

合計：1550000円

2. 職員（育成・研修など）

- 外部研修→すみすみ研修関連
- 施設見学実施
- 常勤・パートスタッフ合同勉強会

3. 事業内容（おもな企画）

- 外出企画（各班、春、夏、秋に3回）
- 家族会

年間事業計画（予定）

| 月 | 内容 | | |
|----|---------------|-----|---------|
| 4月 | 花見企画 | 10月 | 懇談・外出企画 |
| 5月 | 外出企画・家族会 | 11月 | 家族会 |
| 6月 | 避難訓練 | 12月 | クリスマス企画 |
| 7月 | 外出企画 | 1月 | 正月企画 |
| 8月 | 納涼企画 | 2月 | デザート企画 |
| 9月 | バーベキュー企画・避難訓練 | 3月 | 懇談 |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

収入 約 1,937 万円を見込んでいる

現員の清掃班・製パン班で平均 10.4 名の稼働であるが、あらたに縫製班などの新規活動メニューを開始するため新規利用者獲得につとめて定員（16 名）に近いところまで稼働を伸ばす

【支出項目特記事項】

清掃班の洗濯機やパンのオーブンなどの機器が劣化してきており、修繕の必要が出る可能性が高い。

2. 職員（育成・研修など）

常勤職員 3 名中、1 名ずつが清掃班・製パン班それぞれの中心となる役割を担っている。特に製パン班ではパン製造にかかる技術的な面をほぼ 1 名で担っており、稼働日には欠かせない状況がある。両班共に個別対応の重要な利用者が複数あり、2018 年度入職の職員のさらなる技術習得と利用者対応の幅の広がりが求められる。

利用者対応のための研修(主にすみすみ研修)、パン製造にかかる技術習得のための研修の参加を行う。縫製班は「らふら」での活動を基礎に利用者支援の幅を広げる

3. 事業内容（おもな企画）

両班でひきつづき視覚支援等の支援の充実を図る。清掃班では清掃用具の劣化が目立つため、買い替えの検討をおこなう。製パン班では 2018 年度にコンサルタントが入り、工賃の向上のための棚卸し・レシピ改定をし始めており、ひきつづき取り組んでいく。縫製班は「ユニクロ」からの端切れなどの素材をもとにトートバッグの作成などを開始する。活動プログラムの多様化に伴い、開所日を月～土に変更する

年間事業計画（予定）

| 月 | 内容 | | |
|-----|---------------------------------|------|--------------------------------|
| 4 月 | お花見 | 10 月 | 支援学校実習生受け入れ パンつかぼちやまつり |
| 5 月 | 帝塚山音楽祭販売 利用者ボーナス支給 | 11 月 | 製パン班外出 |
| 6 月 | 支援学校実習生受け入れ 清掃班ボーナス外出(土日に実施) | 12 月 | クリスマス会 パンクリスマス販売 |
| 7 月 | 粉浜商店街夜店祭り販売 | 1 月 | 清掃班ボーナス外出 |
| 8 月 | 帝塚山芋忠販売 合同 BBQ | 2 月 | 個別支援計画モニタリング 住吉区文化フェスティバル販売 |
| 9 月 | 個別支援計画モニタリング | 3 月 | 年度末三者懇談 ふらっとたのしむすみよし販売 |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

障がい福祉サービス収入として7,970万円を設定。全利用者34名。

算出根拠として利用者年間265日開所（月～金と年末年始以外の月・水・金の祝日開所）を予定。加算（送迎加算、人員配置加算、専門職加算、食事提供加算、処遇改善加算）を計上している。

※全年度と比較し、入浴事業廃止により6名退所（区分6：5名 区分5：1名）の為、昨年度と比較して大幅な減収見込みである。新規利用者獲得が急務と考えている。

【支出項目特記事項】

- ①チェア 10脚 60000円 活動机 20000円 メンバーロッカー20000円
- ②さくら班パーテーション補修 300000円（通常板10枚、ドア板3枚、アクリル板1枚）
- ③さくら班通路絨毯張替え 100000円
- ④車両メンテナンス(30年度より参照) 300000円
- ⑤設備メンテナンス 200000円（水回り・排管・電気関係・パソコン等のOA関係）

計 1000000円

2. 職員（育成・研修など）

●育成に関してはパートも含めた合同の勉強会を隔月で開催予定。毎回テーマを決定し、講師は職員のローテーションにて持ち回りで行う。またパート評価と面談を実施し、現場業務における大切な事項を共有しながら進めていきたいと考えている。活動の幅を広げる為に他機関の施設見学も実施したい。また、社会福祉士及び介護福祉士の実習生や各種ボランティア等の受け入れも積極的に行っていくことで、職員の伝える力を育んでいきたいと考える。

●研修→すみすみ研修 ・防災研修 ・施設見学 ・強度行動障がい研修 ・アイサポート研

3. 事業内容（おもな企画）

- ・貯金箱企画
- ・外出事業
- ・バーベキュー
- ・新年会

年間事業計画（予定）

| 月 | 内容 | 月 | 内容 |
|-----|--------|-----|-----------|
| 4月 | 花見 | 5月 | GW祝日事業・外出 |
| 6月 | 外出 | 7月 | バーベキュー |
| 8月 | お盆 | 9月 | 外出 |
| 10月 | 外出 | 11月 | 外出 |
| 12月 | クリスマス | 1月 | 新年会 |
| 2月 | バレンタイン | 3月 | ホワイトデー |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

- ・2,846万円：根拠（利用者人数約109%増予定）

【支出項目特記事項】

- ◎べらしお福祉店浄水器フィルター交換等…約70,000円（交換期限です）
- ◎プリント室扉及び鍵修繕…約30,000円
 - ・総セン北側入り口のウッドデッキの塗り替え補修…約50,000円
（2014年に実施した額とほぼ同様です）※補修期限の年です
 - ・総セン1Fトイレ前小部屋プリント事業用保管備品…約20,000円

2. 職員（育成・研修など）

- ・正職員3名、パート職員2名、アルバイト職員1名（退職に伴い募集）
- ・研修として企業連携による人材育成を強化、大人の〇〇塾継続開催

3. 事業内容（おもな企画）

- ・プリント事業の拡大（受注数増加）

年間事業計画（予定）

| 月 | 内容 | | |
|---|-------------|----|-----------------|
| 4 | イベント出店 | 10 | イベント出店 |
| 5 | イベント出店 | 11 | イベント出店 |
| 6 | イベント出店 | 12 | イベント出店・外食研修・大掃除 |
| 7 | イベント出店 | 1 | イベント出店 |
| 8 | イベント出店・外食研修 | 2 | イベント出店 |
| 9 | イベント出店 | 3 | イベント出店 |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

予算収入 6,500万円（2018年度より270万円減）利用者減による

2. 職員（育成・研修など）

- ・2018年度に引き続き部内研修を定期的実施し、介助の基本やコミュニケーション技術などについての質の向上を図ると共に、常勤スタッフ、パート職員全員が支援計画を意識して支援していけるような研修内容、情報共有の方法についての検討を行なう。
- ・人材育成のためにも、“職員が主体的に取り組む”、“チームで協力して支援していく”“そのためには報・連・相が大切”という風土を、部内の会議や振り返り、業務の整理と見える化等を通して培っていきたい。
- ・職員体制が整わず、部内研修と必要最低限の法人研修にしか参加できない状況が続いているので、体制整い次第外部研修などへの参加も検討したい。

3. 事業内容（おもな企画）

作業内容は変わりなく、アート・手芸・さをりを軸に、モノ作りを行なう中で自分を表現したり、主体的に取り組む機会を作っていく。ギャラリーや外出企画だけでなく、なごみ喫茶体験や、毎月実施するコーヒータイムスペシャルや選べるお弁当の企画の中で、選択する機会、能動的に動く機会など将来につながる力を身に付けていけるように支援していく。

年間事業計画（予定）

| | | | |
|------|--------------|-----|--------------|
| 月 | 内容 | 11月 | 秋の外出 |
| 4月5月 | 春の外出 | 12月 | 喫茶(もしくは外食)体験 |
| 6月 | 喫茶(もしくは外食)体験 | 1月 | 初詣 |
| 8月 | るーぶアートギャラリー | 2月 | 後期個別懇談会 |
| 9月 | 前期個別懇談会 | 3月 | 家族会・花見 |
| 10月 | であい祭 | | |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

- 予算：7400万円
- 根拠：ひなた1名増員、つなぐ1名増員

【支出項目特記事項】

- 床式走行リフト 40万円（※複数のスリングシート含む）
⇒メンバーの移乗介助時の安全と職員の介助負担軽減の為。
- ハンモック+取り付け工事 60,000円
⇒ひなたメンバー対象の感覚プログラムを取り入れていく。
- 車輻関係 リフト車：50万円（リース：年間単位）
駐車場代：15万円

2. 職員（育成・研修など）

- 副主任の交代：後任担当への人材育成およびリーダーシップ研修の参加
- ひなたのリーダー交代：現担当からの引継ぎ、および、後任担当をフォローできる現場体制の構築
- 看護師、理学療法士との連携：新体制に変わるため、明確な業務連携を目指す
- 非常勤職員：自閉症などの障がい理解につながる研修、介助・介助器具の研修、摂食・嚥下障がいの研修

3. 事業内容（おもな企画）

- 年2回の外出企画：春期は外食、秋期は外出
- 年7回の合同企画：新規メンバー歓迎会、お盆休み企画、クリスマス会、新年会&成人の祝い、年度末企画、7月・11月祝日事業（それ以外はひなたのみ開所）
- ボランティア企画：アロマハンドマッサージ（月1回）、訪問美容（不定期）
- COCORO通信：活動報告が中心（毎月）
- 家族懇親会：ご家族とスタッフの交流企画

年間事業計画（予定）

| 月 | 内容 | 10月 | 外出企画、祝日事業 |
|----|-----------------|-----|-----------------|
| 4月 | 歓迎会(合同企画)、祝日事業 | 11月 | 外食企画、祝日事業(合同企画) |
| 5月 | 祝日事業 | 12月 | クリスマス会、家族懇親会 |
| 6月 | 外食企画 | 1月 | 祝日事業 |
| 7月 | 外食企画、祝日事業(合同企画) | 2月 | 祝日事業、個人懇談 |
| 8月 | お盆休み企画(合同企画) | 3月 | 年度末企画(合同企画) |
| 9月 | 祝日事業 | | |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

生活介護 14名と契約

*内、生活介護1名は利用予測が難しいため、収入には含まず。

2018年度の稼働日：239日（大雨、暴風等で3日程度休み）

2019年度の稼働日：242日と想定

生活介護

区分4：4名 ⇒ (683単位+10単位)×10.94×242日×4名=733万8812円

区分5：4名 ⇒ (963単位+10単位)×10.94×242日×4名=1030万3992円

区分6：1名 ⇒ (1283単位+10単位)×10.94×242日=342万3191円

未定4名(区分4で仮定) ⇒ (963単位+10単位)×10.94×242日×4名=1030万3992円

生活訓練1名 744単位×10.94×242日=196万9725円

生活介護：合計 2840万4807円

1名長期休暇で休まれること、私用病欠で休まれる方を想定 ⇒ -100万円程度

収入：2740万円

【支出項目特記事項】

購入希望物品

パーキンスブレイラー：15万円弱

用途：視覚障がいのメンバーさんが使用できる点字タイプライター

*価格が高いため、中古商品なども要検討します。

机、椅子、ロッカーなど2020年度新入生用(4～5名分)

2. 職員（育成・研修など）

PECSレベル1研修：1名 39,000円 *予算可能であれば

強度行動障がい者支援者養成研修(基礎・実践)：1名 10,400円 *加算のため

コンサルテーション年3回 42,000円(+交通費) *質の向上のため

3. 事業内容（おもな企画）

1、2年生

調理、レクリエーション、おんがく、ダンス、ヨガストレッチ、せいかつ、身だしなみ講座、作業、暮らし、大人のマナー、コミュニケーション、

3年生

おしゃれセミナー、ボランティア、企業研究、仕事体験、ティータイム、グループワーク、スポーツ、サークル活動

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

生活訓練2名と契約

*内、生活訓練1名は利用予測が難しいため、収入には含まず。

2018年度の稼働日：239日(大雨、暴風等で3日程度休み)

2019年度の稼働日：242日と想定

生活訓練通所 1名 744単位×10.94×242日=196万9725円

生活訓練訪問 2名 248単位×10.94×20回=5万4262円

収入：202万3987万円

【支出項目特記事項】

購入希望物品

パーキンスブレイラー：15万円弱

用途：視覚障がいメンバーさんが使用できる点字タイプライター

*価格が高いため、中古商品なども要検討します。

2. 職員（育成・研修など）

PECSレベル1研修：1名 39,000円 *予算可能であれば

強度行動障がい者支援者養成研修(基礎・実践)：1名 10,400円 *加算のため

コンサルテーション年3回 42,000円(+交通費) *質の向上のため

3. 事業内容（おもな企画）

1、2年生

調理、レクリエーション、おんがく、ダンス、ヨガストレッチ、せいかつ、身だしなみ講座、作業、暮らし、大人のマナー、コミュニケーション、

3年生

おしゃれセミナー、ボランティア、企業研究、仕事体験、ティータイム、グループワーク、スポーツ、サークル活動

年間事業計画（予定）

| 月 | 内容 | | |
|----|-----------|--|--|
| 4 | 入学式 | | |
| 7 | オープンキャンパス | | |
| 9 | キャンプ | | |
| 11 | 懇親会 | | |
| 12 | クリスマス会 | | |
| 2 | 学びの場 | | |
| 3 | 卒業式 | | |

作成者 森 由美子

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

収入：17,204(千円)

根拠：前年度、基本単価と加算が大きく変わり、また利用者減もあって大幅に収入が下がりました。2019年度は前年度をベースに現状維持をまずは目指しながら、稼働率アップにむけて検討をしていきます。

【支出項目特記事項】

- ・利用者増を目指し、改めて室内の構造化を検討。それに伴う器具什器の購入。
- ・送迎車両の車検(2019年6月)

2. 職員（育成・研修など）

- ・引き続き部門内研修を継続的に実施、また前年度から行っている看護師による研修も定期的実施し、より専門性の高い研修をパートも含めて受講できるようにする。
- ・部門内研修については、「事故防止」「権利擁護」「感染症対策」に加え、日常的な支援技術向上を目指した内容を検討していく。さらに外部研修も積極的な参加を促していく。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・利用者拡大…コンサルテーションも受けながら活動スペースの構造化の見直しや使用していない空間の活用をし、これまでの「中高生向けデイ」の支援も守りながら、小学生にも利用しやすい空間づくりをし、利用増を図る。
- ・「らふらふ（お母さん座談会）」の再開…現在、利用者家族をとりまく状況が変化しつつある中で、「らふらふ」が実施できていない。就労継続支援B型事業みんなのマーケットるびなすや、2018年度開所の生活介護事業はぴなに繋がるデイとして、ご家族ニーズを拾う場、支援に関する情報交換やお子さんの将来に役立つ情報交換、学習の場、として座談会の再開を検討する。
- ・同窓会イベントの開催…卒業後の元利用者の交流の場とすることはもちろん、「らふらふ」と同じく、ご家族同士の情報交換の場や、「はぴな」「るびなす」へ繋ぐ場としての活用。

年間事業計画（予定）

| 月 | 内容 | 5月 | 外出企画 |
|-------|--------------------|-------------|------------|
| 毎月 | 調理、おやつづくり | 季節に応じて | 季節の創作活動 |
| 7～8月 | 夏休み企画(昼食づくり、プールなど) | | |
| 10月頃 | じらふ・泉北 同窓会 | 地域活動についての予定 | |
| 12～1月 | 年越し企画、初詣、書き初め | 6月 | はらやま元気まつり |
| 3月 | 総合避難訓練、外出企画 | 8月 | 原山台ふれあい夏祭り |

2019年度 社会福祉法人ライフサポート協会 部門 るびなす 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

予算収入：就労B 16,724(千円)

根拠：支援学校より 週3回以上（見込み）の方が2名利用開始となる予定。そのため収入も微増となる事が予測される。昨年度より10%～15%程度増収予定。

【支出項目特記事項】

送迎用車両（1台） 8人乗り中古 30万円～70万円迄

2. 職員（育成・研修など）

- ・パートを含めたスタッフの研修の機会を増やす。実施の方法として、月1回のパートも含めた現場スタッフ会議を行っているので、15分程研修の場を設定。法人理念等の基本的な内容をはじめ、支援に対する考え方や利用者についての理解を深めるケース検討等を実施していく。また、ナースによる、より専門的な研修も定期的実施予定。

3. 事業内容（おもな企画）

年間事業計画（予定）

- ・新たな内職作業の受注。
- ・カタログを使った、配達作業による売り上げ、工賃の増加。
（全体として前年比：年間5%の売上アップを目指す。）
- ・近隣センターにおける祭り（年三回）、毎月第一土曜日の子ども食堂は引き続き実施予定。
- ・引き続き、地域における活動へは参加予定。（昨年度、1月に実施されたお餅つき大会以降、近隣住民から様々な励ましの声を頂けることが増えた。地域とのつながり作りに繋げたい）

（地域向け）年間事業計画

| 月 | 地域向けイベント活動内容 |
|------------|--------------------|
| 4月 | 高倉台イースター |
| 7月 | るびなす夏祭り |
| 8月 | 高倉台夏祭り |
| 10月 | たかくらハロウィン |
| 毎月 第一土曜日 | みんなの食堂 |
| 2か月に1回 | るびなす運営会議 |
| 月 | るびなす活動内容 |
| 年1回停電（点検）日 | BBQ企画 ※お店は臨時休業日とする |

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

予算収入：14,448(千円)

根拠：利用者全員が他事業所を併用していることや送迎定員の関係で利用者数を積極的に増やすことが難しいため、2018年度から大きく変化はないと考えられる。(2020年度のはびな移転・定員増に向けて、見学・体験等の案内発信は大いに必要) 2019年度は祝日が多いため、祝日の臨時開所についても要検討。

【支出項目特記事項】

- ・2020年度のはびな移転・定員増にむけた
 - ①器具什器類や備品類の購入(※別途予算)
 - ②送迎車両の購入(定員数、予算は未定)

2. 職員（育成・研修など）

- ・るびなすのパート職員がはびな利用者を添乗者なしの単独で送迎を行うこともあり、利用者家族から不安の声も聞かれる。利用者の特性等について引継ぎの機会を定期的に設け、利用者・パート職員双方の安心に繋げる。
- ・運転手や男性職員の確保を行うことで現場職員の業務軽減、研修参加の機会を増やす。
- ・産休育休に伴う正職員の人事異動が見込まれるため、業務分担、引継ぎを行う。
- ・部門内での最低限の研修に加え、ナースによるより専門的な研修も継続して行う。またパートも含め、参加可能な外部研修(すみすみ研修など)にも参加できるようにし、支援技術向上を目指す。

3. 事業内容（おもな企画）

年間事業計画（予定）

- ・活動内容に合わせて利用曜日を決められた方もおられるため、週間スケジュールは基本的に2018年度と変更なく進めていく。作業面に関しても安定して実施できるものを開拓し、はびな移転を視野に入れ、より魅力ある活動内容を検討、定員増に繋げる。

年間事業計画（予定）

| | 内容 |
|---------|--------------------------|
| 毎週月・木曜日 | 昼食作り |
| 毎週水曜日 | おやつ作り |
| 毎月1～2回 | プレゼンツ企画(利用者発信・企画によるイベント) |
| 毎月各2回程度 | プール、トレーニング |
| 各月 | 季節ごとのイベント(初詣、紅葉狩り、忘年会等) |
| 毎月第3水曜日 | ナースによる健康チェック |